

R サンド 施工例①



私たちは、雑草対策の大変さを知っています。

毎年、何回も除草作業をしなければなりません。それも暑い時期に……

今すぐ雑草対策から解放されたい……そんなあなたへ朗報です。

Rサンドは、簡単施工・低価格・効果が長持ちの新しい高機能防草砂です。

実際に施工した方からは、高い評価を頂戴しています。

施工例をご覧ください。写真は施工した方から許可を頂いて掲載しています。

あなたがRサンドを施工する時にこの施工例の写真が参考になりますように



アルカリ、日光遮蔽、透水性が雑草に利く

Rサンド® 施工例
お客様の施工写真をご紹介します

簡単に雑草対策

幾らやっても終わらない雑草対策 もう終わりにしませんか

Rサンド®



株式会社 菅与組 様 本社

秋田県潟上市昭和乱橋字下畑 50 番地

TEL 018-877-4117 FAX 018-877-2454

秋田支店

秋田県秋田市山王 1 丁目 3-10

TEL 018-824-1760 FAX 018-823-2256

五城目支店

南秋田郡五城目町字石田六ヶ村堰添 47-4

TEL 018-852-2330 FAX 018-852-9988

株式会社菅与組様のご厚意により、同社所有地に当社にて試験施工させて頂きました。

①現地確認・草刈り

令和 6 年 10 月 1 日午前、現地にて担当者様と協議して除草範囲を決定しました。

施工場所は隣家の北側で日中の日陰になっている場所です。

広大な土地で雑草対策は全体にネットを敷いて黒い土嚢でネットが飛ばない様に抑えています。

ネットの効果で雑草の丈は 10~15 cm 程度に抑えられています。

菅与組様にて草刈り機で除草して頂きました。

②Rサンド施工(10/3 敷き均し・転圧 13:30~15:30、コテ仕上げ・散水 14:20~16:10)

現場到着後、フレコン入りRサンドをユニック車から軽トラに積み替えて奥の方から敷き均しました。

敷地が凸凹で 5 cm の厚さを確保することが難しいため、50 φ のホースをレベル代わりに地面に置いて高さを取りました。

作業は積替え及び軽トラ運転が 1 人、荷下ろし及び敷き均し・転圧が 2 人、コテ抑え・散水が 1 人です。

午後 3 時半に手前の不足分を残して敷き均しと転圧が終了して 3 人は帰社しました。

コテ抑えとジョーロによる散水は午後 4 時 10 分まで掛かりました。

③追加施工(10/5 9:30~14:00)

翌日は降雨のため、10 月 5 日に 2 人で不足分を持ち込み、昼休みを除いて 3 時間で敷き均しました。

また、雨で穴が開いた部分やくぼみにRサンドを埋め込んで補修しました。

この時、敷き均したRサンドの上を歩いても砂が沈むことはなく、足跡も付きませんでした。

砂の粒径が大きかったため、手前の部分は少量散水してセメント分を浮かしてコテ仕上げしました。

コンクリートの仕上げと同じ感じで施工できました。

写真は菅与組様にご確認頂き、掲載致しております。

試験施工にご協力頂きました株式会社菅与組様に厚く御礼申し上げます。

秋田生コンクリート株式会社 〒010-0063 秋田市牛島西一丁目1番8号

IP 電話・050-3595-2572 FAX・018-832-2655 メール・rsand@rsand.jp

ホームページ・<https://rsand.jp>



施工場所付近の電柱の住所表示と施工場所の敷地全景



10月1日、現場に着いた時は草刈り作業中でした。



対象の土地は手前から上り勾配で、途中から勾配が緩くなって、その先は水平です。最後は急勾配です。手前の2か所で一部凹んでいますが、水溜まりはありません。

10月3日、雑草はきれいに除去されて土が出ていました。



奥から順序にRサンドを敷いてきました。



50φのサクシオンホースを水系代わりに置いて5cmの厚さと施工幅の目安にしました。
転圧前のため、足跡が付いています。



敷き均しは、角スコップやレーキ、スクレーパーで行いました。
転圧は施工幅に合わせた自作のタンパを使用しました。



ジョウロで少量散水して全体をコテで均しました。(手前の傾斜部分を除く)



入口の部分は凹んだ傾斜になっていてRサンドが不足したので後日追加施工することになりました。



入口付近から順序に奥の方へ撮影しました。









ここから右側（奥の方向）は距離が短く傾斜しています。



一番奥は固結後Rサンドを重ねて施工するために表面を粗くしておきました。10月3日はここまで。



10月5日、入口部分を施工します。



前日、雨が降ったので表面の仕上がり（流れ、へこみ、型くずれ）を確認します。



奥に向かって点検していきます。



雨だれて R サンドに穴が空いたみたいです。原因は不明です。



それ以外は問題ありません。





一番奥の部分は凸凹のままで雨による型崩れはありません。



雨だれの部分は持ってきた R サンドを充填してコテで叩いてから均しました。
この時、R サンドの上に上がったのですが、凹むことなく足跡もつきませんでした。
前日の雨によって、R サンド全体が密実になっていると思われます。
10 月 3 日の施工後から 10 月 5 日 9 時までの降水量は 11 mm です。



入口の部分は直線的な勾配になるように R サンドを多めに使用しました。
砂の粒が大きくてコテで抑えても砂の粒子が目立ちました。
そこで、少量散水してコテで均したらセメント分 (R サンドの微粒分) が浮いてきました。
コンクリート仕上げと同じように簡単に均すことができました。



入口部分の傾斜が終わった所に窪みが4か所あったので R サンドで埋めました。















雨だれの部分には板を置いて固結による強度増進を待ちます。

施工モニター様特別優待割引

施工モニターにご協力くださいました方にはRサンド全商品を
20%割引で販売致します。

会社の場合は、役員や社員も同じ条件でご利用できます。

ご利用期間の制限はありません。

右の**クーポンコード**をご注文時にお伝えください。→ **16BM1**



簡単に雑草対策

防草効果が長続き

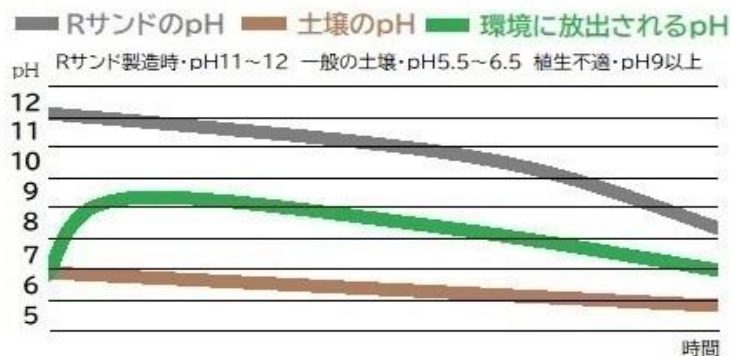
安心な品質証明書

お求めやすい価格

誰でも簡単に施工

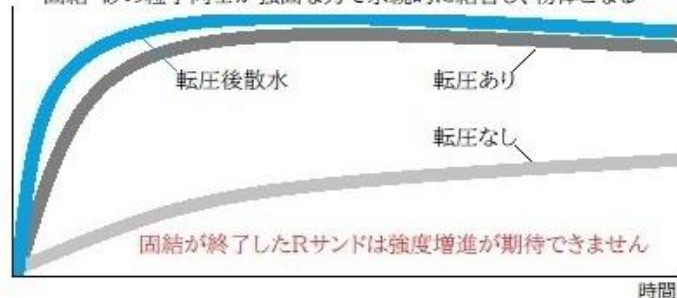


Rサンドのアルカリが地下浸透して環境に放出されるイメージ図



Rサンドの固結効果による強度増進のイメージ図

固結・砂の粒子同士が強固な力で永続的に結合し、物体となる



Rサンドの防草効果が長い理由

左の2つのイメージ図でRサンドの防草効果がわかります。

Rサンドを敷き均した時に転圧することで砂の粒子間の空隙がなくなり、固結しやすくなります。
さらに、散水することで固結の進行は早まります。
転圧しない場合でも固結は徐々に進みますが、粒子間の空隙が多いために強度は半減します。

一方、雨水(酸性雨はpH5.6)によってRサンドのアルカリ性が徐々に低下(中性化)してきます。
pH9を下回るとアルカリによる防草効果はなくなります。
しかし、固結によってRサンドの表面が硬くなっているため、雑草の種子がRサンドに入り込むことはありません。

ただし、歩行や車両の通行によってRサンドの表面の砂が多く剥がれて堆積した場合は、そこから雑草が生えてくる可能性があります。

Rサンド「活用マニュアル」には防草効果を延長する方法が記載されています。是非、ご利用ください。

「活用マニュアル」はRサンドご購入者様に差し上げています。